

かんきょう観察会報告

活動グループ名：赤塚公園自然観察会

観察日時：2018年3月11日(日) 午前10時～12時

観察地域：区立美術館前→バッタ広場→梅林→赤塚植物園

参加者：鴨志田、関口、手塚、佐藤、内田、三宅、北沢、永塚、後藤(静)、福島 (計10名)

天気：晴れ

観察結果：

◎昆虫類

ハラビロカマキリの卵鞘(らんしょう)

オオカマキリの卵鞘(らんしょう)

エサキモンキツノカメムシ

オオツノカメムシ

キイロテントウ

ナナホシテントウ

◎鳥類

オナガ

ツグミ

ヒヨドリ

エナガ

キジバト

◎クモ類

ゴミグモ

ギンメッキゴミグモ

◎野草(花、葉)

フクジュソウ(花)

ヒメオドリコソウ(花)

カラスノエンドウ(花)

ホトケノザ(花)

ハコベ(花)

ムラサキケマン(葉)

ニリンソウ(葉)

ジロボウエンゴサク(葉)

◎樹木

シキミ(花)

サンシュユ(花)

ダンコウバイ(花)

◎虫こぶ

クヌギハケタマフシ

(クヌギハケタマバチの虫こぶ)

観察概要：

観察会は、区立美術館前に10時に集合しました。美術館の近くには、フクジュソウやヒメオドリコソウが咲いていました。トンボ池の近くの木の幹のくぼみにはキイロテントウがいました。

バッタ広場では、オオカマキリやハラビロカマキリの卵鞘(らんしょう)、クヌギハケタマフシ(クヌギハケタマバチの虫こぶ)を観察しました。広場から下に降りる道沿いでは、ムラサキケマンやジロボウエンゴサク、ニリンソウの葉を観察しました。赤塚城址公園広場と梅林の境の桜では、幹のくぼみでオオツノカメムシとエサキモンキツノカメムシを観察しました。

梅林には、キジバトやヒヨドリ、ゴミグモ、ギンメッキゴミグモがいました。また、梅林の横の林にはオナガが数羽いました。

梅林から植物園へ行く途中では、ホトケノザやカラスノエンドウなどを観察しました。

乗蓮寺の塀の上には、シキミの花が咲いていました。

植物園では、サンシュユとダンコウバイの花を花卉(かべん)や雄しべの数を比較しながら観察しました。カタクリの花を観察した後に観察会は終わりにして、開催中の植物画展へ移動している時、木の上にエナガがいました。

<2018年3月11日 赤塚公園自然観察会写真>



キジバト



エナガ



ナナホシテントウ



ホトケノザ



カタクリ



サンシュユ

次回の観察場所・日程は、全体会の後に決めることにしました。